

意見等	当日の回答／⇒後日の対応
ツツジカードについて、交付していただきありがとうございました。	
あおぞら幼稚園から出るT字路（木古庭1351脇）で車が一旦停止しない。警察だけでなく、道路管理者としてきちんと対応してもらいたい。町内会からも一旦停止の表示やカーブミラーをお願いしているが、何も対応してくれない。	停止線あるが、現在薄くなっているので引き直しを検討する。カーブミラーは、あるとかえって一旦停止をしなくなることもあり、原則設置しない方針。 ⇒ 停止線の引き直しについて、交通管理者である葉山警察署に伝えたところ、来年度予算で対応するとのこと。町としての対応策については、引き続き検討する。（道路河川課）
木古庭会館から「鳥ぎん」の方へ抜ける道の途中道が広がっている箇所（木古庭163付近）のセンターラインが消えているので、引き直しをしてほしい。	現在、該箇所はセンターラインが引かれることで返ってスピードを出す車もいて危ないのではないか、歩行者のところにラインを引いた方がいいのではないか、というような議論をしているところ ⇒ 令和4年度中に路面表示（センターライン）の工事を発注する予定。（道路河川課）
昨年夫が他界。木古庭などは高齢者が多く、独り身になる方も多いのでそういう人を集めた会をしたい思っている。役場などで月に1回とかでもよいのでそういう集まりができないか。心のケアをしてもらう場があればと思う。	広報などで集めて対応可能。図書館など集まる場所を安く提供できると思う。個人情報の観点もあり、町から声をかけづらい。民間で集まったときに、お手伝いできると思う。 ⇒ 集まりの場に関しては、サロン活動などの活動情報を「はやま地域活動ブック」に掲載しているので、参考としてほしい。その他、心のケアなどの相談については、福祉課にて対応する。（福祉課）
木古庭のセブンイレブンの側には横断歩道がなく、そこを高齢者が渡っている。バス停付近の横断歩道よりも、セブンイレブンのところをわたる人が多く、セブンイレブン前に横断歩道ができないか。（セブンイレブンに横断歩道設置するとかかなり危ないと思う。逆に信号を申請した方がよいとの意見もあり）	県道の横断歩道については警察が所管。横断歩道の相談は他でも受けているが、警察からは今後、信号機は基本的に増やさないと言われている。警察には要望があった旨は伝えておく。 ⇒ 町としては注意を促す看板等の設置は可能。（防災安全課）
ポストはバス停近くの方が便利なのに、なぜセブンイレブンの方に移動してしまったのか。	⇒（政策課） 郵便局「コンビニでは切手の取り扱いをお願いする関係でポストの設置についても相談することが多い、今回、セブンイレブンではポストの設置について承諾してくれた。現在ポストの総数を増やさない方針なので、近くのポストを移管することとした。」
ペットボトルは蓋があるため、途中で飲むのをやめられるが、アルミ缶、スチール缶は一旦飲んだら飲みきらないといけない。アルミ缶のリサイクルにお金がかかると思う。ペットボトルの排除についての考えを伺いたい。	プラスチックは便利だが地球のことを考えて、マイボトルを使うことによって対応できないか。葉山町は環境を考えて、不便なことはあるがプラスチック、ペットボトルを今後使用しない、減らしていくことを考えている。
高齢になると分別の対応ができるか心配。	福祉課でふれあい収集という制度をもっていて、ゴミ回収等のお手伝いができる。
ゴミの分別について、大阪のゴミの分別は、朝5時に収集車がきて分別したものを、全部まとめてもっていき、職場で分別しているようでその方がお金が安いらしい。専門のトラックをそれぞれ分けるよりも、職場で分別の方が安く済むらしいが葉山町でどう考えるか。	人件費が高い問題がある。分別など人の手に頼らない方がよいかなと思う。
茨城は、燃えるゴミと燃えないゴミの2つの分別しかない。その違いについて知りたい。	炉を常に稼働していきたい市もある。その場合プラスチックまで燃やしてしまっている。これから環境を考えて、変わっていくと思う。葉山は環境対策について速めに始めたが、これから実体がついて行くと思う。
中学校給食について、各家庭への周知については、いつくるのか。（10月21日現在）	もう少しお待ちいただきたい。3月には3年生にも給食を提供してあげたい。
葉山町の空家の問題についてお聞きしたい。	市場で流通できる物件については、家主に管理や売買のお願いをしている。管理不全状態の物件は、道路沿いにない敷地の中の空家など売却するには条件が厳しい物件が多くあるが、このような管理不全物件を空き家対策特別措置法という法律に基づいて、所有者に改善の指導するなど行っていこうとしている。
里山の魅力創造事業について、どのくらいの時期で完成に持って行くのか。	入り児童遊園の奥の土地に商工会青年部の方々の協力で「秘密基地プロジェクト」という事業を展開している。令和5年度はこの場所を各種団体に利用していただけるようプレオープン、トライアルという形で、稼働しようとしている。